

6439 ^{kuraku}久楽**北欧ひとり旅 271-2 : ノールカップ 地図**



不鮮明な地図ですが、世界地図と欧州。
左上の赤丸が、ノールカップ界限。右上の赤丸は、アメリカ大陸、イヌイット界限。
下の赤丸は、ニュージーランド最南端界限。ひとり旅、複数回探訪。



着眼大局、小事実践。世界は広い。
上記は、古い足跡地図にて
アトリエの壁面に・・・
ポーランド、チェコ、ハンガリー、
旧共産圏、等々も訪問。
日本の位置、緯度、経度。
ノールカップ到達は、6月10日。
「ひとり旅日誌メモ」

山はみどり 野に花 人にはこころ

日誌のメモには、ノルウェー、ラクセル (Laksolv) から、ノールカップへ、ラクセルに戻る。下記は、箇条書きのメモを、いろいろ記録。

- ノールカップは、是非行きたいので、別のレンタカーを依頼する。(車窓の破損)
 - 昨夜は、ホテルの窓から見ると、いろいろなものが飛んでいた。
 - 怪我もなく、今日を迎えられたことを、よし、としなくてはどう思う。

- 窓の修理は、部品があるかどうか、今日中に、修理できることを願う。
- 便利にはできていなかった。昔の体験が役立ち、何とか、ひとり旅、続けられそう。
 - 待望のノールカップ訪問。納得。山に登る。北端に行く。何故だろう。

- 何もない荒れた大地。寂寞とした北端、見えないものが見えたのか。
- 30分も、2日も同じで、150マルカの駐車料。ここにもお金の問題。興がさめる。
- ニュージーランドの方が、大変だったものの、印象にも残り、美しく、感動。

- 写真の難しさを痛感している。難しいことを考えず、素材収集に専念しろ。
- 見えないものが見える。余分なものまで見えてくる。良いのだろうか。
- 今日は、芙蓉の被写体まで、シャッターを、無駄と思いながら、押していた。

- 景観も、自然も、刻々と変化している。たまたま、私が、そこにいたことになる。
- カメラを向けるのは、私の心境か、単なる感動か、願望、夢、ロマン、深層心理か。
 - 人間の思い、気持ちの持ち方、気力の大切さ、前向きに行動する、
マインドコントロールの大切さ

～～記録画像を、いろいろな作品に創作テスト～～

全て未完成だが、至福の時間だった、独りよがりに、いいことだけ、思い浮かべる。
人生いろいろある。覆水盆に返らず。前向きに。いい思い出は心の財産。